

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度	科目名	楽器レッスン1（ベース）
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	サウンドクリエイターコース		開設期 前期
対象年次	1年次	科目区分	必修		時間数 30時間
単位数	1単位	開講時間			授業形態 演習
教科書/教材	必要に応じて譜面、資料等を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	上野一郎		実務経験の有無・職種	有・プロベーシスト	
学習目的					
この科目を受講する学生は、ベースという楽器の特性や演奏方法を理解し、基本的なリズムやビートなどのベーシストにとって重要な概念の理解とその演奏能力の向上、音楽理論の基礎概念の理解を中心に授業を進める。 クリエイターにとって必要な作曲スキルを向上させることを目的とし、また楽器を通して作曲におけるベースの役割を理解していく。 知識と技術の習得により楽曲におけるアイデアを蓄積させることも目的の1つとする。					
到達目標					
自由にベースラインを構成していけるようになること、またそのために必要な演奏技術の獲得を目指す。 ベースラインという単旋律を「作曲」することにより、楽曲の中での役割を理解し同時にアレンジ面でも活用できるようにすることが目標である。 1年次の基礎学習課題である「ベーシック（4）リズムセクション」への理解度を深め、楽器レッスンにて学んだ技術・知識を作曲に反映できるようにする。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、譜面によるエクササイズと用意した練習曲を中心に進めていく。 また、作曲におけるベースラインというものの地位を認識するために、アレンジや理論の知識もレッスンの中で習得する。 楽器の技術習得だけではなく、理論面からのアプローチも試みられるように知識を習得するために板書も行う。				
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 配布資料を必ず持参、毎回の板書も必ずノートを取ること。自宅での反復練習を行う事。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 （口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	リズムの概念		ダウンビート、アップビートの概念の理解		
2 回	シンコペーショントレーニング		8分音符のシンコペーションの理解。ベースラインの構成について		
3 回	ビートトレーニング		ビート感覚をしっかりと感じながら演奏する		
4 回	楽曲フォームの概念		全体のベースライン構成を把握しながら演奏する		
5 回	パルスのトレーニング		8分音符のオモテ、ウラの感覚をしっかりと感じること		
6 回	ビートパターンのトレーニング		エイトビートの理解		
7 回	バックビートのトレーニング		8分音符のウラをしっかりと感じて演奏する		
8 回	ビートフィールのトレーニング		エイトビートの感覚をしっかりと感じて演奏する		
9 回	楽曲構成の中でのパターン練習		ベースラインの構成についての理解		
1 0 回	ビートパルストレーニング		8分音符と16音符により構成されたベースラインについて		
1 1 回	ベースラインのアナライズ（分析）		類似したベースラインについて		
1 2 回	ベースライン制作		ラインの構成とビート感覚を共に感じながら演奏すること		
1 3 回	ハーモニートレーニング		コード進行の理解		
1 4 回	フレーズ・リフとリズムについて		ビートの感覚とフレーズの関係		
1 5 回	まとめ		できる限り正確に演奏してみる		